

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	09	0401	展示活動事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-5	芸術文化の振興		
	施策	3	文化財の保護と活用		
目的	博物館事業の展示活動				
対象	市民				
意図	企画展及びテーマ展を開催し、学芸員の調査研究活動の成果を展示を通して発表する。市民が普段目にする事の少ない資料や美術品を紹介する展覧会を開催し、知的好奇心の喚起と充足を図る。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○資料収集活動事業					
○調査研究活動事業					
○展示活動事業	開館10周年記念企画展「人形の歴史ー込められた想いー」 共同企画展「盛岡藩焼物師古館家」 テーマ展「花巻の三画人の共演」「多田等観展」「収蔵資料展-くらしの記憶-」「花巻人形展」 特別企画展「花巻周辺の城館と城下町・城下集落 ～中世から近世期の支配拠点と地域社会」				
市民参画の有無	[対象外]				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 展覧会開催回数	回	計画	6	8	
		実績	6	7	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 博物館入館者数		目標	50,000	23,000	
		実績	48,680	21,323	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	<input type="radio"/>	概ね目標値どおり	<input type="radio"/>	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
開館10周年記念企画展の入館者数が予想のほぼ半数(2,500人)に止まった。市博の入館者動態として周辺館との共通入館券での観覧が多いが、記念企画展ではさらに特別料金を上乘せすることになったため、割安感が薄れたことが要因と考えられる。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
開館10周年企画展は、わが国における人形の歴史について、縄文時代から現代にいたる信仰や生活文化の中での位置づけをさぐるものであったが、館の中心的な所蔵品である花巻人形の魅力を再確認する機会となった。 収蔵資料展-くらしの記憶-は、旧花巻歴史民俗資料館の収蔵資料等を活用したが、小学校の社会科の授業と連動した展示構成となったことで、博物館での調べ学習や出前事業への応用など、博学連携の一つの型を見いだした。 特別企画展は組織の枠を越え、博物館と市総合文化財センターとの連携により開催した。限られた作業時間の中での開催となったが、今後の企画展の創案から開催にいたる学術連携のありかたを提示することができた。	

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	10	05	09	0401	展示活動事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			8,314		8,314
財源 内訳	国・県				
	地方債				
	その他		469		469
	一般財源		7,845		7,845

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	----------------------------	-----------------

部経営方針における目標

地域の歴史や文化財、民俗芸能の保護と活用

事業開始の背景・経緯

博物館は、市民に郷土の歴史・文化を学び、興味と関心の向上を図る機関として市民からの要望のもと建設された。展示内容をより理解しやすくするため、毎年展覧会・各種講座及び体験学習を展開している。

事業概要

- 資料収集活動事業
- 調査研究活動事業
- 展示活動事業
 - 開館10周年記念企画展「人形の歴史ー込められた想いー」
 - 共同企画展「盛岡藩焼物師古館家」
 - テーマ展「花巻の三画人の共演」「多田等観展」「収蔵資料展-くらしの記憶-」「花巻人形展」
 - 特別企画展「花巻周辺の城館と城下町・城下集落 ～中世から近世期の支配拠点と地域社会」

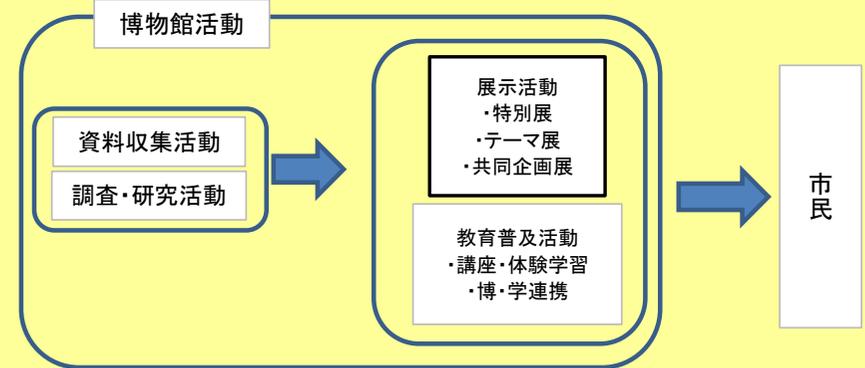
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・地域の文化財の保存と調査研究の推進。→資料収集・調査研究活動の充実。
- ・市民の知的な好奇心にうったえる展覧会の開催。→来館者、講座受講者からのアンケートによる意見聴取。
- ・事業ならびに事業費のコストバランスの見直し。→印刷物の発行回数や印刷枚数の見直し。企画展開催を希望する団体や個人との連携。
- ・博物館活動の周知。→館発行の機関紙やリーフレットの効果的な配置、各報道機関への取材周知。

担当部署 部名 教育部 課名 博物館 担当係長 小原 克仁 内線 32-1030

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



○展示活動事業 8,314千円

【内訳】

- ・開館10周年企画展「人形の歴史ー込められた想いー」
- ・テーマ展4回、共同企画展1回
- ・ふる歴特別企画展